

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-1 健康づくりの推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 健康推進課長 知念 希和 電話番号 0852-22-5248

事務事業の名称	肝炎医療費助成事業	
目的	(1) 対象	B型・C型ウイルス性肝炎患者
	(2) 意図	インターフェロン治療等に係る医療費負担を軽減し、結果として、早期受診・早期治療を促して肝硬変、肝がんの予防やウイルス感染を防止する。
事業概要	○助成内容…所得に応じ毎月の自己負担上限額を定め、その額を超えた医療費について助成（自己負担上限額：10,000円又は20,000円）	
	○対象となる治療 ◆インターフェロン治療・・・治療期間：24週～48週（週1回の注射による治療（飲み薬を併用する場合もある）） ◆インターフェロンフリー治療・・・治療期間：24週（2種類の飲み薬による治療） ◆核酸アナログ製剤治療・・・治療期間：48週（飲み薬による治療（治療期間の更新が可能））	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	
式・定義	肝炎インターフェロン治療費助成者数 （国試算人数）	目標値		500.00	500.00	500.00	500.00	人
		実績値	155.00	183.00	156.00	132.00		
		達成率		36.60	31.20	26.40		
式・定義	肝炎インターフェロン治療受給者証を交付した者の数（目標値は国試算人数）	目標値		0.00	0.00			%
		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	145,503	192,040
うち一般財源(千円)	66,127	96,024

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○平成25年度医療費助成者数（延べ823人）	○平成26年度医療費助成者数（延べ987人）
<ul style="list-style-type: none"> ・インターフェロン治療（1回目） 64人 ・インターフェロン治療（2回目） 3人 ・インターフェロン治療（3剤併用） 89人 ・核酸アナログ製剤治療（新規） 74人 ・核酸アナログ製剤治療（更新） 593人 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターフェロン治療（1回目） 46人 ・インターフェロン治療（2回目） 3人 ・インターフェロン治療（3剤併用） 83人 ・インターフェロンフリー治療 153人 ・核酸アナログ製剤治療（新規） 84人 ・核酸アナログ製剤治療（更新） 613人

6. 成果があったこと（改善されたこと）

制度の拡充もあり、申請件数は増加傾向にある。治療効果の高い薬や、副作用の少ない薬も登場し、年々、治療が受けやすくなっている。

年度	申請件数
H20	400
H21	200
H22	700
H23	700
H24	800
H25	800
H26	1000

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
治療法の進歩が目覚ましく、年度途中で国の制度改正（対象拡大）が頻繁に行われる。その都度県の要綱を改正する必要があるが、その間、拡大部分の助成を行うことができない。

②困っている状況が発生している「原因」
県の要綱改正時には、予算への影響を把握する必要があるが、国からデータの提供が無いため、医療機関や製薬会社等から情報収集を行っている。

③原因を解消するための「課題」
国に対し、必要なデータを提供できるよう引き続き依頼するとともに、必要な情報を素早く収集するため、関係機関との連携を密にする。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

機会を捉えて、国に対し、必要な情報を提供できるよう求めていくとともに、県内の専門医や製薬会社等からの早め早めの情報収集に努め、国の制度改正に遅れることなく県制度の改正を行うことができるようにする。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）